

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	青木町区民で協働した水場づくり事業
事業主体 (連絡先)	青木町区 長野県木曽郡木曽町福島青木町区
事業区分	(4)安全・安心な地域づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	564,850 円 (うち支援金: 420,000 円)

事業内容

昭和2年の福島大火により全戸焼失した青木町区。これを契機に水場が整備され、初期消火用水として日常生活に利用してきた。しかし昨年6月に水場への配水管が詰まり、使用不可能となってしまった。そこで新たな配水管を敷設することで、水場を復活させ安心安全な地域づくりと住民協働による防災意識の向上を図る。

- ・新規管敷設作業 7月31日(日) 13名参加
この作業で青木町区の配水桝まで通水したが、その先で詰まりが判明。業者による修繕で通水した。
- ・住民初期消火訓練 10月16日(日) 20名参加
予定した9月1日は悪天候で延期した為、この日の美化清掃活動に合わせ実施した。

事業効果

- ① 従来どおり防災用、生活用の水を配水できるようになり、安心安全で潤いのある暮らしができるようになった。
- ② 管布設作業を大勢の区民で行ったことで、管路を知る人が増え、将来の配水維持管理に役立つことが期待でき、協働により住民のまとまり意識も高まった。
- ③ 復活した水場を活用した初期消火訓練として10月16日にバケツリレー訓練を実施したところ、懐かしがる年配女性や新鮮に感じた若い女性など参加者から好評であった。今後も引き続き実施したい。

今後の取り組み

青木町区役員として水場担当者2名を選んでおり、水源地からの配水を管理している。また区内にある6箇所の水場は各隣組の住民が当番制で毎月清掃をしている。今後も引き続きこの体制で水場を管理しつつ、災害に強い地域とするため初期消火訓練等を行い、女性や高齢者だけとなる昼間の火災に備える。

区内の生活道路への散水や各家庭での花壇や菜園など植栽への水やりを利用することで、住宅街に彩りと潤いをもたらす地区の緑化を進める。



【管敷設作業の様子】

【目標・ねらい】

- ①火災など災害に強い地域づくり
- ②協働による住民の連帯感の向上
- ③地域の緑化と潤いに寄与

※自己評価【B】

【理由】

- ・既存の区内配水管に想定外の詰まりが発覚したが解消し、通水することができた。
- ・初期消火訓練に20名が参加し、特に女性の防災意識が高まった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある